

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	県央療育センター		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日 ～ 2025年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	142	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年1月14日 ～ 2025年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様に楽しく通所いただいている点。	・お子様の特性や性格を理解することはもちろんのこと、お子様の興味のあること、好きなことを職員も一緒に楽しむ、活動に取り入れる等を意識している。	・これまでの活動にとらわれず、新しい活動を取り入れていくために、他事業所での研修等を充実させていきたい。
2	・保護者の方に寄り添った支援を行っている点。	・保護者の方とのコミュニケーションを大切にしよう意識している。 ・基本的に送迎サービスは行わず、保護者の方に送り迎えをお願いしている。その際に、児童の様子を聞き取り、当事業所での様子を報告し、必要に応じて相談支援を行うようにしている。	・利用日以外にもご相談に応じているが、そのような対応ができるかと存じない方の中にはいらっしゃるため、周知していきたいと考えている。
3	・グループホーム見学会、特例子会社等の見学を開催している点。	・児童が将来より自立的に生活していくことを目標に、先を見据えた支援を行って行くよう意識しながら、プログラムを考え、提供している。 ・法人内のグループホーム、就労支援事業所と連携したプログラムを提供することができている。	・グループホーム見学会を開催した際に、利用者の方がいらっしゃる時間帯であったため、実際の生活の様子がわかりづかったとのご感想をいただいた。そのため、次回はどのような方がどのように生活しているのかを具体的に知っていただけるよう工夫していきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別支援計画や事故防止に関するマニュアルについて、十分にご理解を得られていない点。	・面談時や契約時の説明に留まらず、日々の療育の中で、確認していく場面が少なかったためと考えられる。	・日々の療育の中で、個別支援計画の目標に対する達成度について共有することを意識する。 ・各マニュアルについては、より目立つ場所に掲示し、ホームページ、機関誌等の媒体を利用しながら、周知を行う。
2	・他事業所や他機関での研修、当事業所での見学会に職員が参加することで、職員の学びを深めていきたいと考えているが、勤務の都合上、参加できる職員が限られてしまっていた。	・年間で療育予定が組まれており、担当している個別療育(グループ療育)をお休みして、研修に参加することが困難な状況があった。	・短い時間で研修を設定する、職員が抜けたところに他の職員が入るといったように、柔軟に職員体制を組んでいく。
3			